

委託研修**保育士等専門研修開催要綱****【集合】**

ね ら い 保育者としての経験を保育実践に生かすとともに、さらなる質の向上を目指し、子どもの発達や保護者支援等について、多様な視点を学ぶ。自らの保育を客観視・言語化する重要性を認識する。

実施形態 集合研修

研修対象 現職経験年数が3年以上の保育所保育士等

研修定員 各60名

日程・会場 ①令和3年11月 1日(月)～11月 2日(火)
札幌/かでの2.7 8階 820研修室
②令和3年10月12日(火)～10月13日(水)
旭川/旭川勤労者福祉会館 大・中会議室(旭川市6条通4丁目)

申込期間 ①令和3年 7月 6日(火)～ 9月10日(金)
②令和3年 7月 6日(火)～ 9月 3日(金)

受講可否 ①令和3年 9月17日(金) 左記までにご連絡いたします
②令和3年 9月10日(金)

研修費用 5,000円(共通教材費を含む)

研修内容

	日程・時間	研修科目	研修内容
第1日	9:20～9:50	受付	研修費用の受領/資料配布
	9:50～10:00	開講式	オリエンテーション
	10:00～12:30	講義1 保育の動向と保育者の役割	保育所保育指針やキャリアパス等、保育をめぐる近年の動向について理解する。保育現場での経験を重ねた保育者だからこそ対応できる保育や後進育成等、職場内における役割等について考える。
	12:30～13:30	昼食/休憩	
第2日	13:30～16:30	講義2 自然と触れ合う保育の実践	保育者として、自然とのふれあいから、子どもに伝えたいことや感じてほしいことを再考する。身近な自然を活かした設定保育を実践するための、展開方法や留意点について学ぶ。
	9:30～12:00	講義3 保育施設に期待される保護者支援 ～子ども・家族をめぐる多様な背景～	約30年連続で増加している児童虐待について、保育者はその事実に関心しやすい立場であり、子どもと保護者を支援する役割を担う。 虐待の未然防止と早期発見・早期対応に繋がる保護者支援について、改めて学ぶ。
	12:00～13:00	昼食/休憩	
	13:00～16:00	講義4 『気になる子ども』の保育	発達障がいを含む発達面で気になる子どもについて、なぜ保育者は気になるのか、その要因を考察し、日常的な保育の中で配慮すべき点について学ぶ。 心理学的な側面から「見方を変える」意味や方法を知り、子どもや保護者への支援について考える。
	16:00	閉講	